

2017年

日本語教師ボランティア その7 (インフラ事情)

土曜教室 小林 保

<地下鉄>

ホーチミン市では人口増と市街地再開発のために市内の渋滞は激しく、交通インフラ整備が必要とされています。そのため地下鉄6路線が計画され、最初の路線は日本政府の支援の下、2020年開通に向け工事中ですが、かなり遅れているようです。市街地は歴史的建造物が多く工事の難易度はかなり高く日本の技術協力は不可欠です。最初の路線はホーチミン中心部から東北部の住宅地までの約20kmで、地下路線は中心部の数キロのみ、それ以外が地上を走行することです。



市街地の地下鉄工事

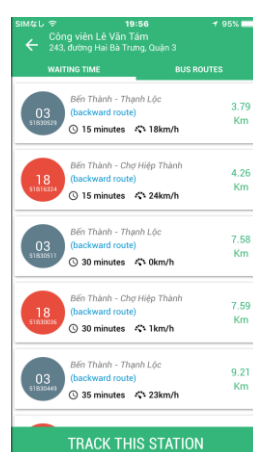
<バス、タクシーを便利にするためのアプリ>

ホーチミン市民の主な交通手段は、バス、タクシー、バイクタクシーです。最近、それら乗り物を便利に利用するためのアプリが公開され、若い人達はスマートフォンで利用しているようです。

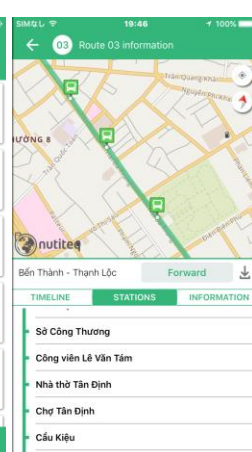
私は“BUSMAP”アプリを良く利用します。起動すると、自分の現在位置とバス停が地図上に表示されます。バス停をクリックすると付近を走行するバスの路線番号と選択したバス程までの到着予測時間がリアルタイムに表示されます。更に路線番号をクリックすると該当番号のバス路線が地図上に表示されます。上手く使うと市内のいろんな場所にバスを乗り継ぎ行けて本当に便利です。



現在位置とバス停



路線番号と到着予測時間



バス路線

ベトナムでは一部のタクシードライバーのモラルが問題で、外国人等の地理がよく分からない人が乗車すると遠回りしたり、前に乗せた客のメーターをリセットせずに加算して料金を請求したりする悪質ドライバーがいます。ベトナム人職員から乗ってはいけないタクシーを聞き注意していますが、それでも何度か不愉快な思いをしました。

最近、東南アジアの都市では“Grabタクシー”（配車タクシー）がよく利用されています。

Grabタクシーの管理会社はすべての運転手と直接面談を行い、徹底した身元確認を実施します。そうすることで、契約運転手の質を担保し、サービスの向上につなげているそうです。“Grabタクシー”のアプリを利用すると現在位置と近くにいるタクシーが地図上に表示されます。適当なタクシーを選択し、乗車場所と目的地を入力すると料金が表示され、すぐにドライバーから電話がかかってきて、指示した場所にタクシーが到着します。

料金は通常のタクシーより少し安く、明朗料金で安心できますが、ドライバーとの言葉の問題で、外国人が利用するのは少し難しいかもしれません。ベトナム人にタクシーの配車を頼むとこのアプリを利用してタクシーを呼んでくれます。このアプリが更に普及して悪質ドライバーが淘汰されていくと良いですね。

同様なサービスがバイクタクシーでもあります。料金が不明朗でトラブルが絶えないバイクタクシーですが、このシステムで安心して安く利用できると私の知人が話していました。

今でも、客が少なく暇そうにしているバイクタクシーのドライバーが更に暇になりそうです。



暇そうに路上で客待ちするドライバー

<上下水道>

水道水は飲めません。沸騰させれば飲めるようですが、多くの職場、家庭、学校では20リッターのポリケースに入った飲料水を購入しています。

下水道の整備は未だ十分でなく、土砂降りの雨で道路が川のようなことは頻繁です。第1センターある地区は川に囲まれ、満潮時に雨が降らなくても、道路のあちこちで下水から逆流した水に浸ることがあります。

